

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	広島大学	個人・グループ名	三浦利仁	作品名	T.M.Evaluation
-----	------	----------	------	-----	----------------

1.制作の動機・目的

児童・生徒の学習状況を適切に評価し, 評価を指導の改善に生かしていくことは, 児童・生徒の学力, および教員の指導力の向上にもつながり重要である。しかし, 教員が多数の児童・生徒の学習状況を随時評価・記録することは容易ではない。評価を行うことに対する義務感・圧迫感は, 教員の評価活動を形骸化させる恐れがある。また, テストの点数ばかりを重視するのではなく, 学習プロセスを通じた学習成果物や記録を評価することが重要視されつつある。これらの学習評価における現状を踏まえ, 操作性・インターフェース性に優れたタブレット端末を利用した学習評価システム T.M.Evaluation の開発を行った。

2.システムの概要および利用方法

T.M.Evaluation は, 学習プロセスにおける評価・記録の促進と, 学習評価・記録の簡易化を指向し作成した学習評価システムである。本システムは Android 3.0 以上を搭載した端末での動作が可能である。Table 1 に機能一覧を, Fig.1~Fig.4 にスクリーンショットをそれぞれ示す。

Table 1 機能一覧

①名簿の作成・編集	・直接入力, または CSV ファイルからインポート
②座席表の作成・編集	・ドラッグ&ドロップで生徒を座席順に配列
③評価情報の作成・編集	・単元名, 評価規準, 評価観点および評価段階を設定 ・評価観点・気づきの編集
④評価の記録	・評価対象の座席を選択して, 評価を記録
⑤評価データの表示・編集	・クラス, 個人ごとに評価データを表示・編集 ・評価データのエクспорт (CSV 形式)

①名簿データは直接入力, または CSV ファイル (指定の形式) からインポートすることで作成できる。

②Fig.1の座席配置画面で表示される座席表は, 教室の形態 (縦, 横の列数) を指定した上で, ①で登録した名簿データをもとに, ドラッグ&ドロップでの作成が可能である。

③単元名, 評価規準, 評価観点および評価段階 (A,B,C や 1,2,3 など) を設定した評価情報を作成する。

④児童・生徒名を座席に配置した画面で, 評価対象の座席を選択すると, ③で登録した評価情報に基づいたダイアログ (Fig.2) が表示され, 設定した基準に従った評価を記録することができる。授業終了後は, 評価データの一覧を確認した上で, データベースに書き込みを行うことができる (Fig.3)。

⑤記録された評価データは, クラスごと (Fig.4), または個人ごとに表示・編集ができ, CSV 形式でのエクспортも可能である。

T.M.Evaluation は無料でインストールが可能である。詳しい使用方法の確認, およびダウンロードは以下の URL より行うことができる。

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/cyata/system/index.html>

3.工夫点

座席配置画面にて, 評価対象の座席を選択するだけで, 容易に評価・記録を行うことができる。また, タブレット端末は操作性・携帯性にも優れるため, 授業の中でしか記録できない学習活動のプロセスを, 随時評価・記録することにも有効である。さらに, T.M.Evaluation で記録された評価データは, CSV 形式でエクспортすることができ, Excel 等の表計算ソフトウェアでの表示・編集が可能である。そのため, 学期末・学年末において総括的評価を行う際に, 名簿等の紙媒体に記録している評価データを PC 等に入力する作業を省略でき, 教員の負担の軽減が期待できる。



Fig.1 座席配置画面

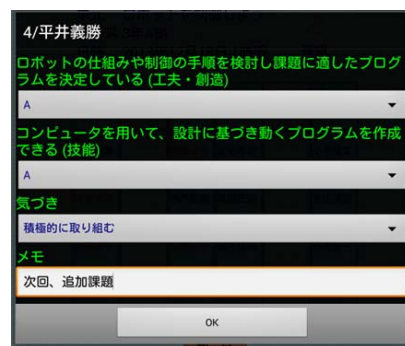


Fig.2 評価記録ダイアログ

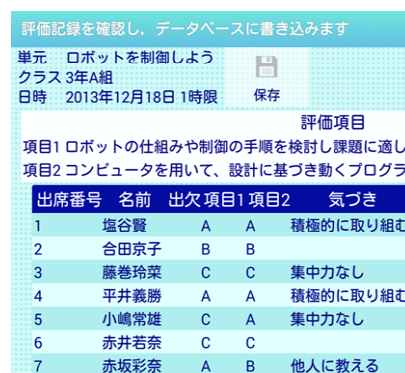


Fig.3 評価記録確認画面



Fig.4 評価記録表示・編集画面

※個人名はランダムに生成しており, 実在の人物ではない。